

国民健康保険を考えよう ①

◎発行 向日市役所 (京都府向日市寺戸町中野20)

◎編集 市民部保険年金課 ◎電話075 (931) 1111

みんなで支える健康と福祉

医療費の増加が国保財政を苦しめています

みなさんの保険料が国保を支えています

国保制度は住民の国保料 などで支えられています

国保料の適正な 納付を

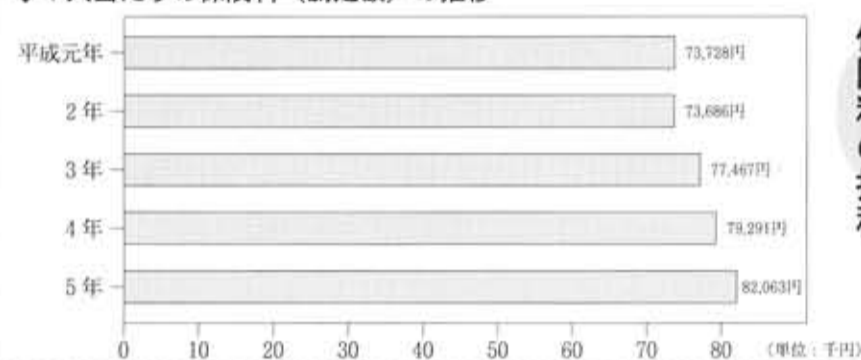
国民健康保険事業は、私たちが病气やけがをしたとき、治療にかかる費用が膨大なものにならないように、国保だけの財源でまかなっていく国保事業特別会計で運営されており、財源は、被保険者のみなさんが納める国保料や国が負担する国庫支出金等から成っています。

しかし、医療技術の進歩に伴う医療費の上昇や国保料の未納等の理由により、国保事業特別会計のみでは費用に不足が生じるため一般会計からも費用を補填して、国保事業の健全化を進めています。国民健康保険は、市民のみなさんの健康を守る大切な制度です。

加入者一人ひとりが、みんな平等に適正な医療が受けられ、費用を平等に負担することがこの制度の原則です。そのためには、被保険者の皆さんが適正に国保料を納付されることが大切です。

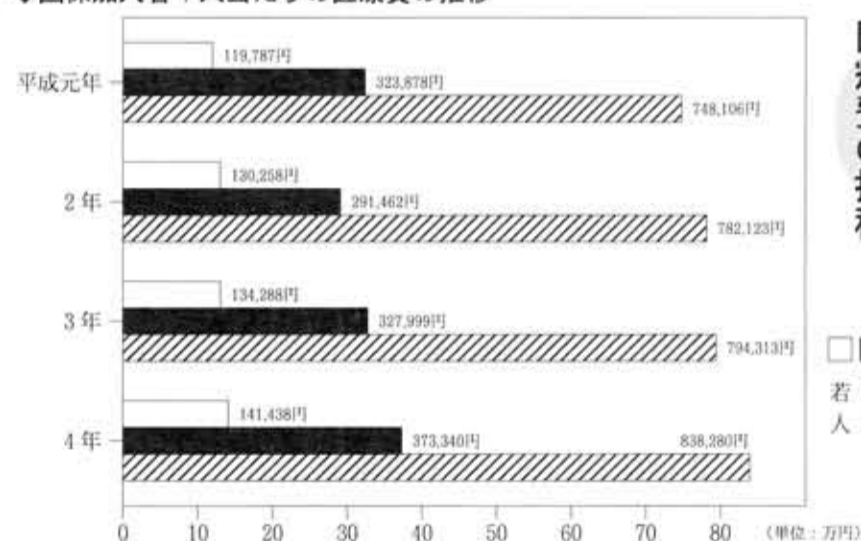


◆1人当たりの保険料(調定額)の推移



保険料の推移

◆国保加入者1人当たりの医療費の推移



医療費の推移

医療費は有効に使いましょう



市民のみなさんの病气やケガの治療に要する医療費は、毎年増加しています。この傾向は、人口高齢化の進行、疾病構造の変化、医療技術の進歩および薬剤開発などによって今後も引き続き高まっていくものと予想されます。慢性的の病气にかかったり入院期間が長期にわたりやすいお年寄りを多く抱える国保財政は、増加する医療費をいかに節約し、財源を確保するかが緊急の課題となっています。加入者一人ひとりが自覚をもって、確実に保険料を納付し、また、医療費を大切に使うことで、国保財政を健全なものにすることができます。わたしたちの医療費がすべての被保険者のために有効に使われるようにしたいものです。